

第 3 章

參考資料

「東京都教育ビジョン（第3次）（仮称）（案）」に対する意見の概要について

1 意見募集の実施状況

(1) 実施期間

平成25年2月21日（木）から3月15日（金）まで

(2) 対象

都民、学校関係者等

(3) 意見の件数等

ア 項目と件数

項目		件数(件)
第1章	基本的な考え方	10
第2章	1 学びの基礎を徹底する	9
	2 個々の能力を最大限に伸ばす	14
	3 豊かな人間性を培い、規範意識を高める	7
	4 社会の変化に対応できる力を高める	7
	5 体を鍛える	5
	6 健康・安全に生活する力を培う	8
	7 教員の資質・能力を高める	23
	8 質の高い教育環境を整える	15
	9 家庭の教育力向上を図る	3
	10 地域・社会の教育力向上を図る	4
その他		6
合計		111

イ 属性及び人数

属性	保護者	学校関係者	個人	団体	不明	合計(人)
人数	10	8	24	3	1	46

ウ 主な意見の要旨と東京都教育委員会の考え方

別紙のとおり

【意見例】（ページ数は「東京都教育ビジョン（第3次）」における該当部分）

取組の方向	意見の要旨	都教育委員会の考え方
2 個々の能力を最大限に伸ばす (本文14ページ～)	高校在学中の留学などは、これからの人材を育てる上でよい取組であり、「国際社会で活躍する日本人の育成」の一層の推進を期待している。	・広い視野や海外で通用する高い英語力、リーダーとしての自覚やチャレンジ精神等を育成するとともに、留学を阻害している要因を解消し、高校在学中に高校生を留学させる「次世代リーダー育成道場」の取組を、今後も継続して実施し、拡充を図る。(本文16ページ)
7 教員の資質・能力を高める (本文28ページ～)	児童・生徒の教育を担う教員の資質・能力の向上は重要であり、具体的な取組を進め、質の高い教員の育成を実現してほしい。	・初任者の段階からの意図的・計画的な人材育成により、教員一人一人が経験や職層に応じた自らの役割と責任を自覚し、確実に職責を果たす力を身に付けることが重要である。そのため、本ビジョンに記載した施策を着実に実施し、教員の資質・能力を向上させていく。(本文30ページ)

【意見を受けて追記した内容】（ページ数は「東京都教育ビジョン（第3次）」における該当部分）

取組の方向	意見の要旨	都教育委員会の考え方と対応
5 体を鍛える (本文23ページ～)	子供の外遊びを一定時間、一律に強制するのではなく、個々の希望や状況に応じて柔軟な運用が可能になるように配慮してほしい。	<p><考え方></p> <p>・「総合的な子供の基礎体力向上方策（第2次推進計画）」の着実な推進により、遊びや運動そのものの楽しさ、やりがいなどを感じながら夢中になって活動できるようにすることにより、子供の生活を活動的なスタイルに変えていくことを目指していく。</p> <p><対応></p> <p>○「総合的な子供の基礎体力向上方策（第2次推進計画）」の内容を踏まえ、「施策の必要性」に、身体活動量を増加させることの必要性を追記した。(本文24ページ)</p>
6 健康・安全に生活する力を培う (本文26ページ～)	都立高校の生徒と自治会や町会が共に行う防災訓練が、一層広がることを望む。	<p><考え方></p> <p>・全都立高校で実施する一泊二日の防災訓練を、今後も継続するとともに、地域の町会・自治会などと連携して、避難所の運営を経験させるなど、実践的な訓練を実施し、子供たちに「自助」「共助」の精神と実践力を高めていく。</p> <p><対応></p> <p>○都立高校における重点的な取組である「一泊二日の宿泊防災訓練」及び「地域との連携」を追記し、施策の内容を明確にした。(本文27ページ)</p>
7 教員の資質・能力を高める (本文28ページ～)	多様な課題に対応しながら学校経営に当たる管理職に必要な資質を、計画的に育てていくことが必要である。	<p><考え方></p> <p>・学校や子供に関わる新たな課題等に対応するため、教育管理職には、幅広い視野と教育施策への深い理解、学校組織マネジメント能力等の育成が不可欠である。このため、若手教員のうちから学校マネジメント能力の育成を図る研修を体系的に実施する。</p> <p><対応></p> <p>○「施策の必要性」に「子供や学校に関わる様々な課題等に対応するため、」を追記し、優秀な管理職等を育成する必要性を示した。(本文31ページ)</p>